



へんしゅうぶれんらくさき\*  
\*編集部連絡先\*

〒257-0025 秦野市落合500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/



がっこう

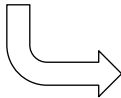
# 学校だより

## ともに歩む総合的な特別支援学校をめざして

けんきゅうけんしゅうかりだんとう かつまた こうすけ  
研究研修係担当 勝亦 康祐

本校では、令和2年度より「ともに歩む総合的な特別支援学校をめざして」を共通テーマに設定し、授業や支援方法等について研究に取り組んでいます。子どもたち一人ひとりの実態に合った指導支援をおこなえるよう、部門課程ごとに取り組んでおりますが、共通テーマのもと、7つの部門課程が同じ方向を向き、子どもたちが「毎日登校したい!」と思える学校をめざして研究を進めてきました。2月には、公開研究報告会を予定しています。今年度も学校関係者を対象に、オンラインでの実施とさせていただきますが、「ともに生きる社会」の実現へ向けた一助となるよう、本校での取り組みを発信したいと考えています。

また、本校ホームページに教材・教員・作品を掲載しています。今年度の教材・教員・作品は3月中旬の掲載を予定しております。下の2次元コードよりアクセスすることができますので、ぜひご覧ください。



B

B課程は隣接する神奈川病院の7病棟と8病棟に入院している児童生徒が在籍しています。年末、8病棟は都合により、児童生徒が登校できない期間がありました。“みんな元気かな…?”と教員一同悶々としながら冬休みを過ごし、迎えた3学期! 7病棟は通常登校、8病棟は病室での授業でスタートしました。みんなの元気な顔が見られてよかったです!

さて、新年と言えば『書初め』ですね。1月の第2週と第3週、7病棟の児童生徒が挑戦しました。病棟で学習する児童生徒は、“水で書ける半紙”を使用して、登校して学習する生徒は墨汁と半紙を使用して書きました。一人ひとり書く文字は学年に合わせて、教員が選びました。教員と一緒に筆を持ち、小学2年生『そら』、小学4年生『明るい心』、小学6年生『追及』、中学3年生『一期一会』、高校2年生『初志貫徹』、高校3年生『天下無双』と書きました。完成した書をご覧ください! ものすごく味のある、良い書ではありませんか?!

8病棟も登校できるようになったら挑戦します。どんな書になるかしら? お楽しみに~!



D

基礎1クラス  
校外学習  
「花菜ガーデン」

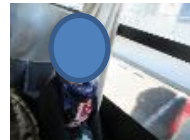


D弘済の基礎1クラスでは、昨年の11月に平塚市の「花菜ガーデン」へ校外学習に行きました。お天気もよく、過ごしやすい気候の中で実施することができました。花菜ガーデンは9月末から11月上旬まで「ローズフェスティバル」といって、色とりどりのバラが園内に綺麗に咲く時期でした。

今回の校外学習の目的は「バラを見つけに行こう!」でした。入園してすぐに「あっバラだ!」と発見する子どももいました。見つけたバラの近くまで行き、観察してみたり、匂いを嗅いでみたりしました。「このバラは匂いがあるね」と気付く子どももいましたよ!

花菜ガーデンまでの行き帰りはスクールバスに乗りました。「トラック!」や「高速道路!」と教えてくれる子どももいれば、外を眺めながら、ゆったりとドライブを楽しむ子どももいました。

事後学習では、当日に撮影したビデオを見た後に、写真を画用紙にたくさん貼り、学習を振り返ることができました。それらを廊下に掲示すると、他のクラスのお友だちも見に来て、「どこに行ったんだろう?」等と興味津々にしている様子がみられました♪楽しみにしていた校外学習に行けて良かったね!!



F

小・中学部から考える～進路～



F末広に通う小・中学生にとって、「進路」はまだ先のことのように感じられるかと思いますが、子育てを終えた多くの方から「あつという間に大きくなった…」という声を耳にします。

「進路」という言葉は、高等部卒業後にどこに行くのか、それだけを意味するわけではありません。子どもたちが、どんな風に将来を過ごしていくのか、小・中学部のうちから考えていくことが大切です。

F末広では、いぶき祭の参観に合わせ、保護者学習会を開催し、多くの保護者の皆様と一緒に子どもたちの未来を考える時間を持つことができました。また、年に3回ある面談の時に、進路担当が同席することも始めました。連絡帳等で保護者と担任が日々の生活、学びを共有し、必要に応じて専門的な話もできるようになってきたところです。そのような中、進路学習会や見学会に多くの保護者に参加していただき、大きな反響をいただいています。

また、子どもたちも、学習の中で将来に向けた活動に多く取り組んでいます。学級での係活動はもちろんのこと、着替えや食事などの自分の身の回りのことがんばっています。保護者と協力して、家庭での「お手伝い」に取り組んだ子どもたちもたくさんいます。

ここ秦野に暮らし、いろいろな場所を訪れ、多くの人と出会う中で積み重ねる経験は、子どもたちの力になっています。

これからも、「今できること」を計画的に少しずつ、保護者の皆様と一緒に歩んでいきたいと思っています。

